

湘南浦高会通信 第5号

2017年6月15日

<総会実施報告>

今年の湘南浦高会総会は、6月3日(土)14:30から藤沢市商工会館で開催されました。同窓会本部から岩淵副会長兼浦和麗和会会長と藤野事務局長が、駆けつけてくださいました。また当会のメンバーは、阪上さん(3回)を筆頭に21名の方に参加いただきました。以下、総会の議事内容についてご報告します。

1. 会長挨拶(省略)

2. 来賓挨拶

<岩淵本部副会長>

まず湘南戦で訪れた湘南地区はとても懐かしく思います。湘南高校が、創立100周年(2021年)を迎えるのを期に浦高に続き「奨学財団」を設立したいということで、湘友会(湘南高校同窓会の名称)会長である上野トランステック会長が、木村浦高同窓会会長を過日訪問されました。また、湘南高校応援団も浦高応援団を訪問し交流が始まり、少しずつ湘南高校との交流が再開されております。湘南浦高会には是非そのつなぎ役を担っていただきたいと思います。

また、地域の同窓会では、大宮麗和会がさいたま市で4月末から5月上旬に開催された「世界盆栽大会」のサポートを行い、主催者から大いに感謝されました。

<藤野本部事務局長>

①先日開催された同窓会総会の話、②浦高がマスメディアに良く取り上げられていること、③北浦和駅開業80周年、④校章の変遷、⑤東大合格者県内No.1に返り咲いたこと、⑥浦高生が夜遅くまで教室に残って勉強していること 等が報告されました。(詳細略)

3. 2016年度活動報告・会計報告

資料(別紙参照)にもとづき、鶴塚副会長から2016年度の活動内容について報告されました。また、吉田学会計担当から会計報告が行われました。

4. 2017年度活動方針・活動計画・予算

資料(別紙参照)にもとづき、平井会長から2017年度の活動計画と予算が説明されました。昨年度に引き続き、会員間の懇親を促進するために、懇親会、ハイキングやゴルフコンペの会員交流イベントを実施する予定です。また、湘南高校100周年に向けて、地元として何かできないか今後検討していきます。なお、会

員交流イベントにつきましては、会員の皆さまからの希望や提案も大歓迎です。会員の皆さまと共に当会を盛り上げて行きたいと考えています。

予算については、これまで同様にイベントの都度の実費清算で行うということで、特段予算化はしておりません。イベント毎での若干の余剰金は、運営経費(通信費、雑費等)に充当させて頂くということで、参加者の了解を得ました。

5. その他

(1) 特定失踪者(拉致被害者)の高27回 藤田進君のための署名協力依頼の件:

本部同窓会総会の席上で、高27回藤田進君の弟さんが演台に立ち、奪還に向けた署名への協力を訴えました。ついては、湘南浦高会においても署名の協力をお願いし、参加者から署名をいただきました。

(2) 同窓会理事 H.30~31年度理事推薦の件

平井会長は、現在本部同窓会理事に就任しておりますが、その任期は平成29年度までとなっております。引き続き本部理事を続けていくためには、平成30~31年度の本部理事への推薦(母体組織からの20名の推薦署名)が必要になりますので、参加者の皆さんに協力を依頼しました。20名の方から推薦いただきましたので、同窓会本部に報告しました。



<総会「講演会」報告>

大出佳和(27回)

今年の総会では、本部同窓会の総会と同様に総会議事に加えて講演会を開催しました。

湘南浦高会のメンバーの逸見仁道氏(21回・元東邦大学医学部教授)に、参加者の関心が高いと思われる「前立腺のはなし」をしていただきました。以下逸見教授の講演内容を紹介させていただきます。

・前立腺の病気には、①前立腺肥大症:前立腺の移行領域に良性腫瘍ができ尿道を閉塞する病気。②前立腺

がん：前立腺内にできる悪性腫瘍（無秩序な自己増殖と浸潤・転移）がある。



<前立腺肥大症>

・前立腺肥大症の症状としては、残尿感、頻尿、尿意切迫感、尿勢低下、腹圧排尿、夜間頻尿があるが、**特に夜間頻尿（夜間に1度でもあれば）の場合は、泌尿器科を受診して検査を受けることを強く推奨。**

これは尿道狭窄のみならず睡眠の質を確保するためにも必須であり、羞恥心を捨て我慢しないことが肝要である。

・前立腺肥大症は尿道狭窄による排尿障害が主症状であり、夜間頻尿と尿勢低下が見られたら治療を開始すべきタイミングである。治療は軽度の場合は投薬で済むが、重度の場合は尿道閉塞の可能性が高いので手術が必要となる。

<前立腺がん>

・前立腺がんは加齢とともに発症する確率が増加し、2020年には男性の部位別のがんとしては、肺がんに次いで第2位になると推計されている。基本的には自覚症状がないので検査と診断でがんの有無を確認するしかないが、リスク要因として乳製品があり、昭和20年代から30年代にかけて学校給食で脱脂粉乳を飲んできた世代の方々は、要注意である。

・診断は腫瘍マーカーPSA検査で行われる。検査キットはBeckman Coulter（前Hybritech）社製の信頼性が高い。病院で受診する場合は問題ないが、検査キットは通販でも入手可能であるので、自ら検査をする場合には注意を要する。総PSA値（遊離型PSA+結合型PSA）が0~4ng/mlであればがんの疑いはないので、定期的に検査を継続していれば良い状態。

総PSA値が4~10ng/mlは「グレーゾーン」で、25~40%の確率で前立腺がんの可能性があるので、総PSAに占める遊離型PSA値の割合を確認する必要がある。遊離型PSA値は、前立腺がんより前立腺肥大症のほう

が高いので、遊離型PSAが25%以下の場合には、がんの疑いがあり生検を行う必要がある。逆に25%以上の場合には、定期検査の継続で良いことになる。

総PSA値が、10ng/ml以上の場合には、生検を行い前立腺がんの有無を確かめることになる。

・治療法は、前立腺がん発見時の症状により、PSA監視療法、手術、放射線治療、内分泌療法、化学療法がある。高齢（概ね75歳以上）で進行度が低い状態で発見された場合、前立腺がんは進行が遅いこともあり、加療せずにPSA検査のみの監視療法を採る場合がある。手術をする場合は、従来の開腹手術ではなく、患者の身体的負担が軽減される、ロボット支援手術（通称：ダビンチ）が推奨される。この手術は2012年から保険適用されており、経済的負担も少なく入院日数も短くて済む。また、術者（医師）の熟練度もそれほど要求されない。因みに神奈川県内でダビンチを導入している主な病院は大学病院を除き次の通り。

- 済生会横浜市東部病院 2016年10月
- 湘南藤沢徳洲会病院 2012年2月
- 湘南鎌倉総合病院 2012年9月
- 横浜労災病院 2013年9月
- 横浜市立みなと赤十字病院 2014年2月
- 横須賀市立うわまち病院 2014年7月
- 横須賀共済病院 2017年5月

・最後に強調されたことは、夜間頻尿（夜間に1度でもあれば）まずは泌尿器科を受診してPSA検査を受けること。その結果がんが確認されて専門医の診断を受けたい場合は、上記の病院か逸見氏の同僚である「東邦大学医療センター大森病院 泌尿器科教授の中島耕一先生」宛に紹介状を書いてもらって、受診してくださいとのことでした。

<総会後の懇親会実施報告> 大出佳和（27回）

総会の後に、藤沢駅北口「庄や」で20名の参加を得て懇親会を実施しました。

17:00~の開催ということでお店に予約を入れておりましたが、お店側が19:00~と勘違いしており、会場準備で待たされること15分、席に着いてからもなかなかビールにありつけずに、乾杯でスタートできたのは17:30過ぎになってしまいました。座席の配置も通常は宴会形式で8名/卓のはずでしたが、急いだためか3~4名/卓で「何だかまとまりがないな。」と感じつつ

も同席した同期の栗原さんと若手の吉田正敏さんと話し出しました。しばらく同席の二人と話をした後で、周囲を見回すと、奥の方では本部からの岩渕さん、藤野さんと湘南浦高会の役員の前田さん、吉田学さんの4名、隣の席では、逸見先生と野沢さん、山下さんの3名、後ろの方では、阪上さん、須山さん、早野さんの3名と喜井さんの4名等、それぞれ顔を突き合わせて話に夢中になっている様子が見られました。今まで殆ど面識の無い方もいたと思いますが、同窓という仲間意識と席の配置によって盛り上がっている様子が窺えました。お店の店長から差し入れられた一升瓶もあったという間に空になり、よく飲み、よく話す元気な中高年の集まりになっていました。こんな状況でしたので、途中予定していた各人の近況報告も行わずに、話を遮ることはせずに時間の経つままお開きになりました。最後の締めも行わずに全体感に欠ける懇親会でしたが、参加者はそれぞれ楽しまれたのではないかと思います。

<懇親会参加者> (敬称略)

岩渕 均 (18・本部)、藤野 龍宏 (22・本部)、
阪上 浩 (3)、須山 茂樹 (4)、早野 総和 (11)、
野沢 芳久 (13)、七海 耕一 (14)、河田 勝夫 (14)、
今井 昭信 (15)、逸見 仁道 (21)、今泉 治仁 (22)、
喜井 博之 (24)、栗原 浩 (27)、山下 正道 (35)、
平井 隆一 (21)、原田 洋 (21)、鶴塚 芳夫 (21)、
吉田 学 (23)、大出 佳和 (27)、吉田 正敏 (31)

<イベント実施報告>

<ゴルフコンペ> 原田 洋 (21回)

湘南浦高会のはじめてのゴルフコンペを4月20日(木)に三島カントリークラブ(静岡県三島市)で開催しました。

コースは緩やかな丘陵コースであり、眼下に沼津と三島の市街が、そしてその先に駿河湾が広がる素晴らしい眺めのコースでした。当日は快晴で、富士山の雄姿が終日眺められ、またポロシャツ1枚でプレー可能な暖かさという最高の天候と眺望に恵まれ、ゴルフプレーと景色を満喫できたと思います。

ただ、参加者の中には久しぶりのプレーのため、また距離のあるミドルホールや池に囲まれたショートホールといった難しいコースレイアウトのために、多くの方がいつもどおりのプレーができなかったようでした。

それでも、同好の仲間と和やかな雰囲気の中で、無心でゴルフができたためか、プレー後のお茶会では皆さんとても穏やかで晴れやかであったように思いました。まさにゴルフならではの親睦が図れた楽しい一日でした。



<ゴルフコンペ参加者> (敬称略)

七海 耕一 (14)、芳賀 八郎 (14)、平井 正彰 (14)
野原 輝夫 (15)、榎本 孝雄 (15)、平井 隆一 (21)
原田 洋 (21)、坪井 武信 (22)、大出 佳和 (27)

<新緑の鎌倉散策&懇親会> 鶴塚 芳夫 (21回)

5月11日(木)前日の雨も夜半には上がり、素晴らしい青空の下、第二回鎌倉散策を実施しました。

当日の朝は、なぜか鉄道のトラブル情報が多数あり集合時間に全員揃うか懸念されましたが、日頃の行いが良く大きな遅れもなく10名全員集合しました。

今回のコースも鎌倉ガイド協会の坂本哲夫ガイド(18回)の設定で、大仏を中心にしたコースです。

*JR 鎌倉駅東口~バス~火の見下~大仏切通~

高德院(大仏)~鎌倉文学館~御霊神社~江ノ電長谷駅 「徒歩 約3km 高低差あり」

最初に、「鎌倉七口・七切通」の一つ「大仏切通し」を火の見下バス停から歩き始めました。バス道路から民家の脇に入るとすぐに山道に入り、山を切り開いて作った道を実感することが出来ました。一方を海に、三方は山に囲まれた鎌倉の軍事的要害性を失わずに人々の往来や物資の運搬のための最小限の道が「切通し」だったようです。出入口を入れて直ぐに立派な「やぐら」(鎌倉石を彫った横穴式 供養堂)も見ることが出来ました。大仏トンネルの脇に降りるまでの山道は思った以上に険しく、前日の雨の影響もありスタートから皆さん少し疲れた様子でした。

<参考> 「七切通し」:「大仏切通し」、「朝比奈切通し」、「名越切通し」、「化粧坂切通し」、「巨福呂坂切通し」、「亀ヶ谷坂切通し」、「極楽寺坂切通し」の七つです。

大仏トンネルを抜けるともう直ぐに第二の目的地「大仏」(高德院)に到着です。さすが修学旅行生が多く、小学生時代を懐かしく思い出しました。仁王門に入り修学旅行生同様、大仏を背景に集合写真を撮影しました。当初は木造であった大仏ですが、その後大風で倒壊し、復興に当たり鑄造で青銅像を製造し現在に至るようです。鑄造は大仏近くで製造していたことが分かっているようですが、輪切りにして青銅を段繋ぎに合わせて建造した技術が、今から700年以上前にあったことに驚き感心しました。胎内に入るとこの繋ぎ目をはっきり見る事が出来ます。



大仏を後に、住宅街を20分ほど歩き次の目的地「鎌倉文学館」に向かいました。文学館は、昭和11年に前田家16代当主前田利為により現在の洋館が別荘として完成し、その後昭和58年に鎌倉市に寄贈され、昭和60年に鎌倉ゆかりの文学者の著書・原稿・愛用品などの文学資料を収集保存し、展示することを目的とした文学館が開館しました。4月22日から7月9日まで特別イベントとして「漱石からの手紙 漱石への手紙」が開催されています。前方に海を望む庭園では、丁度5月10日から6月4日まで「ばら祭り」が開催されていましたが、まだ一週間早いようで残念でした。ここでは、ハーフティンバーを基調とする洋風に和風要素を取り入れた建屋をバックに、集合写真を撮影しました。

文学館を後に、最後の目的地「御霊神社」目指し長谷寺の脇を通り江ノ電の踏切が近くにある「御霊神社」俗称(権五郎神社)に到着しました。俗称は、祭神鎌

倉権五郎景政の名に由来し 学業成就・必勝招来の神徳があるそうです。

12時も30分を過ぎ 長谷駅近くの「SYMPOSION(シンポジオン)」へ急ぎました。予定より30分近く遅れましたが、生ビールで乾杯し懇親会が始まりました。美味しいイタリア料理にワインを頂きながら楽しい歓談の一時を過ごし無事一日を終えることが出来ました。坂本ガイド(18回)には第一回に引き続き、今回もお世話になりありがとうございました。引き続き第3弾の企画が課題となりました。



<鎌倉散策参加者> (敬称略)

早野 総和(11)、野沢 芳久(13)、山根 圭一(13)、千代 正明(16) 坂本 哲夫(18)、平井 隆一(21)、原田 洋(21)、鶴塚 芳夫(21)、坪井 武信(22)、大出 佳和(27)

以上

★ ★ ★ ★

<会員コラム 執筆者 募集>

*会員コラムは、会員の皆さんどなたがご寄稿いただいても構いません。高校時代の思い出や同期生・同窓生との交流について等をお寄せください。

連絡事項・今後のスケジュール

<会員交流イベント>

- ・キリン横浜工場見学 8月1日(火)
Eメールで参加募集を送付します。
 - ・ゴルフコンペ 10月平日 詳細未定
三島カントリークラブ
- 皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

編集責任者: 大出 佳和(27回・事務局長)

発行責任者: 平井 隆一(21回・会長)

<別紙・総会資料>

湘南浦高会 2016 年度 活動報告・会計報告

1. 活動報告

活動方針として、(1) 地域同窓会組織の確立、(2) 会員相互のコミュニケーション活動、(3) 本部・他地区同窓会との連携 の3つを掲げて以下の活動を行いました。

(1)総会の開催：6/4 (土) 藤沢商工会館にて実施、役員決定、活動方針・計画の確認 19名参加

(2)役員会の開催：8/4、11/3、1/7、5/11 役員間の懇親およびイベント準備

(3)会員懇親会の開催：6/4 (総会后 19名)、9/3 (藤沢 14名)、12/3 (鎌倉散策後 16名)、3/4 (藤沢 15名)、5/11 (鎌倉散策後 10名)

(4)会員交流イベントの開催：

- ・紅葉の鎌倉散策 12/3 (土) 実施 16名参加
- ・第1回ゴルフコンペ 4/20 (木) 9名参加 三島 CC
- ・鎌倉散策第二弾 5/11 (木) 開催 10名参加

(5)「湘南浦高会通信」の発行：

第1号(6/5)、第2号(9/25)、第3号(1/10)、第4号(4/1) Eメールが登録されている会員へ発送。他郵送9部。

(6)地域・職域同窓会責任者会議への出席：

2/11の会合に平井・吉田学の2名が参加。本部同窓会だよりに「湘南浦高会」の記事掲載。

(7)他地区との交流会の開催 (含む湘南高校同窓会)：

- ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」をメール送付。
- ・バレーボール部の復活湘南戦への応援。(4/2)
- ・湘南高校同窓会との関係を探るためにイベントへの参加、人脈を捜査。

2. 会計報告

<収入の部>

1.繰越金	前年度繰越金	10,882 円
2.会費	総会・懇親会等	229,000 円
3.雑収入	本部からの祝金	10,000 円
	収入計	249,882 円

<支出の部>

1.事業費	懇親会飲食代	181,820 円
2.通信費	往復はがき代、郵送料他	28,917 円
3.会議費	会議室使用料、コピー代他	15,025 円
4.消耗品費	インクカートリッジ代他	1,576 円
5.雑費	ガイド料他	7,200 円
	支出計	234,538 円
差引残高 (次年度繰越金)		15,344 円

湘南浦高会 2017 年度 活動方針・活動計画

1.活動方針

- (1)地域同窓会組織の確立
 - (2)会員相互のコミュニケーション活動
 - (3)本部、他地区同窓会との連携
- の3つを推進して行きます。

2.活動計画

- (1)総会の開催：6/3 (土) 藤沢商工会館にて実施
- (2)役員会の開催：適宜、役員間の懇親およびイベント準備
- (3)会員懇親会の開催：会員相互の親睦・連携の推進
懇親会単独では年2回開催。イベントの終了後にできる限る懇親の機会を設定する。
- (4)会員交流イベントの開催：
・ハイキング/散策等：年2回程度開催
(当面は鎌倉・江の島地区が中心)

- ・ゴルフコンペ：秋・春の年2回開催を目標
- ・工場見学会：是非1回実施したい。
- ・その他、趣味の会等の開催を模索したい。

(5)「湘南浦高会通信」の発行：年4回(6,10,1,4月)

(6)地域・職域同窓会責任者会議への出席

(7)他地区との交流を促進(含む湘南高校同窓会)

- ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」は継続配信。
- ・湘南高校同窓会との関係を構築すべく人脈を探りコンタクトする。

(8)地域貢献・ボランティア活動

どのような貢献が可能かを模索し実施に移すべく検討したい。

3.予算

各イベントは単独で収支決算できるように運営するので、特段予算組みは行わない。

各イベントにおける残金は、湘南浦高会運営費(主に通信費・雑費)に充当させてもらう。

以上